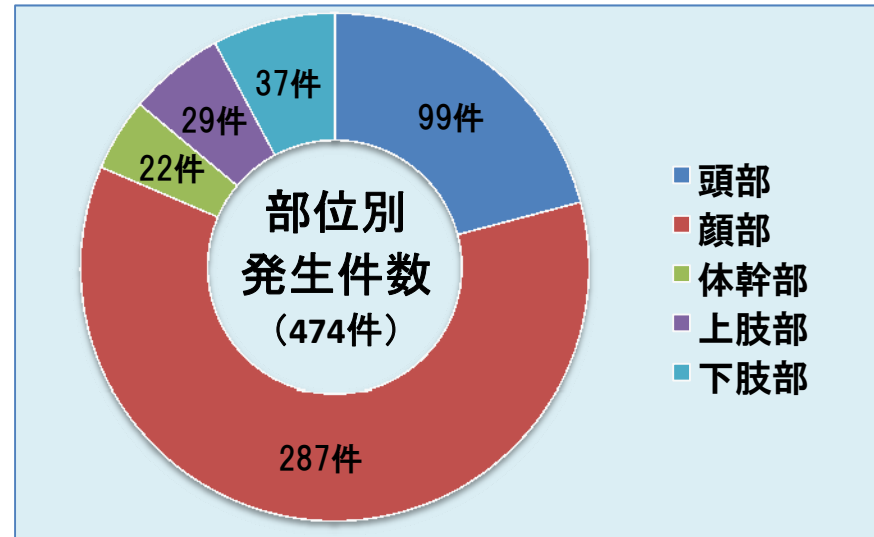


# プールのけがに気をつけよう！ (幼稚園・保育所編)

## 1. 体のどこをけがするのか？

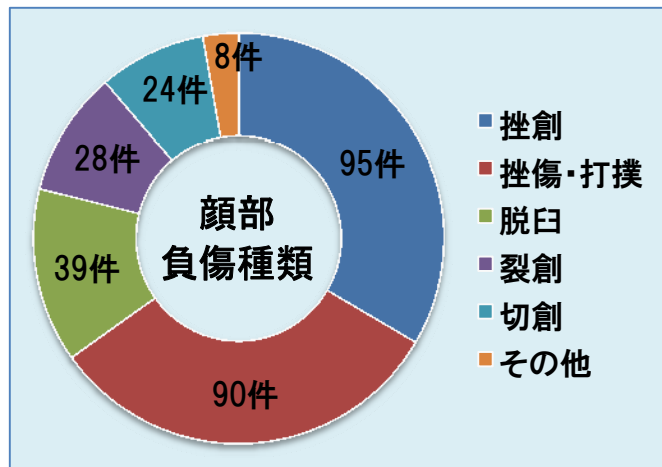
平成21年度に幼稚園と保育所のプールで発生した事故について、体のどの部位をけがしたのか分析したところ、

1位	顔部	287件
2位	頭部	99件
3位	下肢部	37件



という結果となりました。

幼稚園・保育所では、顔部のけがが約60%を占めています。



顔部の中でも挫創や挫傷・打撲といったけがが多く発生しており、その割合は約64%となっています。

それでは、幼稚園・保育所のプールで多く見られる災害事例を見てみましょう。



## 2. どんな時にけがをしているかな？

プール内でゲームや遊戯に夢中になって、友達や壁にぶつかったり、転倒したりして、顔をけがするケースが多く見受けられます。また、プールの出入りの際に怪我するケースも多いです。



乳幼児は体のバランスを取るのが難しく、特にプールは滑るため転倒してけがすることが多いようです。大けがとならないよう、プールの周りには不要なものは置かないようにしましょう。

学年	負傷種類	負傷部位	発生状況
5歳	挫創	顎部	プールサイドに上がろうとした時に足を滑らせプールサイドであごを打った。
6歳	挫傷・打撲	前額部	ボール遊びをしていた際、走って転倒し、プールの角で頭を打ち負傷した。
3歳	挫傷・打撲	頭部	プールに入る為に、プールサイドを小走りしていて、すべった拍子に後頭部を打撲してこぶができた。
2歳	挫創	前額部	プールの縁から身を乗り出し、滑って頭から落ちる。コンクリートで額右上を強打する。
3歳	挫創	眼部	プールサイドへ上がろうとプールのへりに右手をついたところ、右手がすべり右目横をプールの角で打ち、切り傷を負った。